

# 現役の中間管理職、経営者をフォーカス

自身のブランドアップやコミュニケーション術など、ホテリアに明日につながる生きる力を

この度は、このような機会を頂戴しありがとうございます。

私は約30年にわたり、合計3軒のホテルにて経験値を積み、多くのホテルマンが目標として掲げる、“いつかは総支配人になりたい”という夢をかなえるべく精進してきましたが、両親の介護という現実の前に、離職を余儀なくされました。

その後は、“いつかは、またホテルに戻り、総支配人になりたい”という希望を持ちながら、自ら設立した会社にておもてなしコンサルタント・ホスピタリティアドバイザーを手掛けています。

私はホテルマン時代から、一番の商品は人であると考え、自分の価値を高めて売ることを心掛けてきました。また、仲間やかかわる方々の支えや協力があってこそ自分であるという思いも、強く持っていました。

最初のホテルで学んだ“一期一会”という言葉の2つの意味、「2度と同じ機会はないので、このときを楽しみともに高め合う」ということと、「もし、この相手と二度と会うことがない、最後の機会だとしたら、惜しみなく何を伝えてもてなすか」ということを大切にしてきました。そのおかげで新たな出会いも広がり、人財のありがたみをますます感じるようになっております。

そこでこれまで築いてきた人脈を紹介するとともに、皆様から自分自身のブランド力の上げ方、チームワーク作りの方法、コミュニケーション能力の伸ばし方などを引き出していきたいと考えています。特に若いメンバーや女性スタッフで、ミドルマネジメントとして活躍しているホテリア達をフォーカスし、その方々のモチベーションアップにもつなげていきたいと思っております。

輝いているホテリアたちは、何にあこがれ、何を乗り越え、何に喜びを感じ、何でストレスを発散させているのか、本音で語り合い、読者を引きつける連載にしたいと、今からワクワクしております。4月2週号より、どうぞ、よろしく願いいたします。



(株)ホスピタリティデザイン 横浜  
石原 健氏

神奈川県横浜市中区元浜町 2-23-1-705  
URL:<https://www.hospdy.com>

〈プロフィール〉1965（昭和40）年東京生まれ。桜美林大学経済学部卒業／日本ホテルスクール卒業／ホテル産業経営塾卒業（第一期生）。ホテル センチュリー ハイアット（現ハイアットリージェンシー東京）で4年のキャリアを積み、1989（平成元）年、ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテルの開業準備室に、第1期生として入社。開業後は主にセールスとして活動。39歳で販売担当部長となり、宿泊、宴会、婚礼、レストラン、イベント等の全ての販売を行なう。国内外からのVIPに対するおもてなしを行ない、4度にわたる皇室接遇担当の荣誉も授かる。また横浜青年会議所（JCI）のメンバーとしても活動し、2004年には100%出席賞を受賞。東日本大震災後、ウェスティンホテル仙台へ赴任、セールス&マーケティング部長として、総支配人の不在時には代行も務め、3年2か月間復興支援の一端を担う。2014（平成26）年、(株)ホスピタリティデザイン 横浜を設立、代表取締役役に就任、現在に至る。厚生労働省事業検討会委員、ホスピタリティ教育研究会会長、産業能率大学講師など、宿泊・サービス業界団体や学校、企業などで活躍中。

〈編集部より〉2020年4月に本格化した新型コロナウイルス感染拡大の中、ホテル業界は厳しい局面を迎え、ホテル業界から去っていた次世代をになう若者も多い。そこで多様多彩なホテル経験を持ち、Facebookでは約3000人の友だちを持ち、フォロワー数の多い石原健氏に、現役で勤める経営者、中間管理職にフォーカスしていただき、事例を通してホテル業界の真の魅力、可能性を発信し、次世代に向けたホテル業界への気づき、そして現職者に向けた新たな力や業界を生き抜くための知恵を授けてほしいとお願いし、4月2週号より、月2回（2週・4週）にインタビュー記事を掲載いただく運びとなった。そこでこれから始まる期待の連載に先駆け、石原健氏のプロフィールとともに、連載にかける思いをお話いただいた。